

# Amity

アミティーナーシング Vol.121

# NurSing

発行／公益社団法人 北海道看護協会道南南支部  
編集責任者／寺田恵子

## CONTENTS

- 道南南支部長あいさつ
- 看護研究学会プログラム
- 研修会報告
- 看護の日イベントのお知らせ
- 特集「緩和ケアにおける補完療法の導入」
- 推薦委員会からのお知らせ

2026年1月発行

2月14日

# 支部大会に向けて

道南南支部支部長

寺田 恵子

## 謹んで新年のご挨拶を申し上げます

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本支部の活動に対し、会員の皆様ならびに地域の皆様より多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年も、皆様にとって心穏やかで実り多き一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、支部事業は、ひとえに会員の皆様、そして地域の皆様からの温かいご理解とご支援の賜物であり、おかげさまで滞りなく進捗いたしました。本支部では、年間を通じて「看護の日」イベントをはじめ、地域の皆様に看護をより身近に感じていただけるような交流の機会を積極的に創出してまいりました。各種研修会やイベントを企画・実施し、全ての事業を会場での集合形式で開催できました。受講者同士が顔を合わせ、直接コミュニケーションを図ることで、新たな繋がりや交流が生まれるという集合研修ならではのメリットを活かした一年となりました。次年度も集合研修を積極的に取り入れ、皆様の学びと交流の場を創れるよう活動して参りますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

私たちが暮らす道南地域でも、高齢化の急速な進行、医療・介護人材の偏在、そして人口減少といった課題に直面しております。このような状況下において、全世代型地域包括ケアシステムの構築は不可欠であり、その中で看護職が果たすべき役割はますます重要性を増しております。これらの変化に柔軟に対応しながら、看護職一人ひとりが誇りとやりがいを持って看護を継続できる環境を整えることが、地域医療・介護の未来を支える上で極めて重要であると認識しております。

北海道看護協会は2025年度、以下の5つの方針を掲げています。

1. 看護の質の向上と役割拡大の推進
2. 全世代型地域包括ケアシステムの推進
3. 看護職等の確保と定着の推進
4. 危機管理体制の整備
5. 組織力の強化

本支部も、これらの本部方針に基づき、2040年に向けて、全ての人々がその人らしく生涯を過ごすことができる地域社会の実現を目指し、活動してまいります。特に、会員数の減少という厳しい状況や、看護を取り巻く環境が大きく変化し続ける中で、地域における看護のネットワークづくりは喫緊の課題であり、重要な取り組みであると認識しております。会員の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のもと、道南地域の特性を踏まえた支部事業を進めてまいります。

さて、本年度の締めくくりとして、来る2月14日（土）には、プレミアムホテル-CABIN PRESIDENT-函館におきまして、支部大会および看護研究学会を開催いたします。

支部大会は、会員の皆様の貴重なご意見を直接お伺いし、今後の支部活動に反映させるための重要な場です。2040年を見据え、道南地域の看護職が果たすべき役割について活発な議論を交わす貴重な機会と考えておりますので、多くの会員の皆様にご参加いただけますよう、心よりお願い申し上げます。なお、選挙につきましては、定足数を確保できなくなることを避けるため、予め書面による議決権行使書および郵送による投票を採用いたしました。開票は支部大会当日に選挙管理委員立会いの下で行います。

また、同日開催の看護研究学会は、日々の看護実践から生まれた知見や、新たなエビデンスに基づく研究成果を共有し、看護の質の向上に資する知識や技術を深めるための貴重な機会となります。こちらも会場へのご参集形式での開催といたしますので、たくさんのご来場をお待ちしております。

重点事業に関しては

QRコード→MENU→協会概要よりご覧ください



2025年度

### 公益社団法人 北海道看護協会道南南支部大会 看護研究学会開催のご案内

日時 2026年2月14日(土) 道南南支部大会 12:30開会  
看護研究学会 13:30開会

場所 プレミアホテル CABIN PRESIDENT函館「カメラア」  
函館市若松町14番10号

# 道南南支部 看護研究学会プログラム

2月14日(土) 13:30~15:30

第 1 群 座 長 日本赤十字社 函館赤十字病院 澤 田 祐 輝

- 第 1 席** 認知症の行動・心理症状 (BPSD) の改善に向けて  
～なじみの曲を使用した音楽療法～  
社会医療法人文珠会 亀田北病院 細 井 彩
- 第 2 席** 脳外科領域の身体的拘束率の減少に効果的である方法の検証  
～身体的拘束解除に向けたアセスメントフローを導入して～  
市立函館病院 木戸口 詠
- 第 3 席** 高齢者女性に対する適切な保湿剤の選択  
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 岩 館 由佳子
- 第 4 席** 問診業務のタスクシフトによる看護ケアとモチベーション変化の検証  
医療法人徳洲会 共愛会病院 長 川 陽 子
- 第 5 席** 体動センサー解除に向けた取り組み  
～活動制限をなくしたい～  
社会医療法人函館脳神経外科 函館脳神経外科病院 工 藤 なるみ

第 2 群 座 長 市立函館病院 松 橋 由紀子

- 第 1 席** PTGBDドレーンを挿入している患者の心理的負担や不安の実態把握から在宅看護を検討・考察する  
市立函館病院 首 藤 愛 梨
- 第 2 席** 2交代制度導入による看護師の心理面の変化  
社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 小 林 結 以
- 第 3 席** A病院手術室の地震災害対策の不足点の検討  
～地震災害時シミュレーションを通して～  
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 坂 本 萌 子
- 第 4 席** 退院支援の円滑化を図るための取り組み  
～フローシートを活用した退院支援～  
医療法人徳洲会 共愛会病院 福 田 敬 子
- 第 5 席** 高齢嚥下障害患者に対するとろみ付き飲料の効果の検証  
社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 永 川 玲 奈
- 第 6 席** 症状変動の大きい終末期における在宅看取りを支える訪問看護の役割  
～24時間対応と予測的支援基盤とした家族支援の一事例～  
木古内町国民健康保険病院 高 野 愛

# Workshop Report



## 教育委員会からの研修報告<ACP>

委員長 米田 恭子

2025年10月12日（日）、支部主催の「ACP研修会」を開催し、講師の市立函館病院・山崎裕先生から、ACPの基本や実践のポイントについてお話を伺いました。講義後にはグループで事例を検討し、患者さんやご家族の揺れ動く思いにどう寄り添うかを、皆で多角的に考える時間となりました。函館市では独居高齢者が増え、意思確認が難しい場面も多くあります。日頃から意思を確認できる体制づくりや、在宅医療・病院間の連携の大切さを、あらためて感じる機会となりました。参加者からは「実践に生かせそう」「家族との関わりの参考になった」など、前向きな声が寄せられています。今回の学びを、これからのケアや支援に少しずつ生かしながら、地域でのACPの取り組みがより良いものとなるよう努めていきたいと思えます。

## 働き続けられる職場づくり推進委員会研修報告

委員長 村本 貴子

2025年10月25日（土）「メンタルヘルスケア」研修を開催いたしました。講師には社会医療法人函館博栄会函館渡辺病院 精神科認定看護師 武藤崇央先生をお招きし、「ストレスフルな社会を生きる」をテーマに、「自分自身を振り返り、自分の傾向を知る」「知識を得て実践することでストレスとうまく付き合うことができる」「自分にも他者にも『愛』を持つことができるようになること」を目的に27名の参加で行われました。参加者からは、「講義がわかりやすく、自らのストレスとの向き合い方、対処方法について学ぶことができた」「自分の傾向を知ることができ他者とのかかわり方を学ぶことができた」「前向きな気持ちになることができた、今後もこのような研修に参加したい」等多数の意見が寄せられ、学びの深い研修となりました。今後とも働き続けられるための手がかりを得られるような研修を行っていきたく考えております。よろしくお願いたします。



## 保健師職能・助産師職能合同職能集会を終えて

助産師職能委員長 上田 亜湖

2025年7月12日（土）、保健師、看護師、助産師の計25名が参加し、「子育て支援のための多職種連携の実際」をテーマとして、札幌市の株式会社町コム代表取締役、小六真千子先生にご講演頂きました。町コムは、訪問看護による子育て支援を積極的に行っている実績があります。支援が必要な母子（特定妊婦）との関わりについて事例を交えながらの講演は、大変分かりやすく引き込まれる内容でした。グループワークでの意見交換も活発で、講師もそれぞれのグループにラウンドし直接ディスカッションされていました。アンケートでは「子育て支援のため多職種連携の重要性を学ぶことができた」「子育て支援に訪問看護があるということも知ることができた」「お母さんたちの負担が軽減できるようにこれから支援していきたい」等の声が聞かれ、学びの深い充実した研修になったと感じております。



## 看護師職能集会を終えて

委員長 大清水 千穂

2025年9月6日（土）に看護師職能集会「認知症の理解と応用～パーソンセンタードケアについて～」を開催いたしました。講師には精神科認定看護師の成田邦男先生をお招きし、ご講演いただきました。定員を超える応募があり、たくさんの参加者に興味・関心をもって受講して頂きました。

ご講演は講義のほかに隣同士でのミニワークを行い、普段の現場での看護の振り返りや今までの自分がやっていた看護を改めて考えるきっかけとなりました。受講生の方々からは「認知症患者への自分の対応について考えるきっかけになりました」「今回の研修で今後の対応や患者さんを尊重した関わりができるように頑張りたいと思った」との声があり、これからの看護に活かせる内容となりました。

看護師職能委員会では、会員の皆様の日々の看護につながる活動を行っていきたくと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。



# 看護の日 NURSING DAY に向けて

5月12日は  
看護の日



第二副支部長 小宮 裕子

5月12日は看護の日です。

21世紀の我が国は少子高齢社会となり、さらに近年は感染症や災害など様々な場面で、これまで以上に「看護」が必要とされています。看護の役割は「人」を支えていくことにあると考えます。

「看護の日」は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、国際看護師協会がこの日を「国際看護師の日」と定めたことが由来となっています。日本では、1990年に旧厚生省が21世紀の高齢社会を支えるために、老若男女を問わず誰もが「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を育むきっかけとなることを目的として制定されました。毎年5月12日を含む日曜日から土曜日までの1週間を「看護週間」とし、全国各地で看護にまつわるイベントを開催しています。

道南南支部では、昨年、趣向を変え、函館蔦屋書店の一角をお借りし地域の皆様が様々な体験を通して看護について知っていただくような実演型のイベントとしました。保健師による健康相談、看護師による血圧等の測定、助産師による産後ケアの紹介・妊婦・新生児人形の抱っこ体験、訪問看護師による介護相談と在宅ケアのミニレクチャーなど、地域における「看護」も知っていただくよう企画しました。

今年も同じスタイルでと考え、準備を進めております。地域へ飛び出し地域の方々との交流を深めてまいりたいと思います。イベントを通じて「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を老若男女問わず誰もが考えるきっかけになればと願っております。たくさんの方々の参加をお待ちしております。



看護の日  
イベント  
お知らせ

● 2026年5月16日(土)13:00~15:00

場所 / グランディールイチイ  
地下イベントスペース

内容 / 内容詳細は検討中ですので、  
北海道看護協会ホームページで  
ご確認ください。

公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部 ▶



# 「緩和ケアにおける 補完療法の導入」

函館おしま病院 補完療法セラピスト ウッド恭子

日本国内でも先駆的な試みとして緩和ケアホスピスに補完療法セラピーを導入して半年が過ぎました。アロマセラピーマッサージや、英国のホスピスで多く取り入れられているHEARTS（ハーツ）プロセスというタッチケアセラピーを行うセラピストとして看護チームからの協力を頂きながら、終末期を迎える患者さんやそのご家族ができる限り穏やかな最後の時間を過ごせるよう、患者さんのみならずご家族にセラピーを通して寄り添うという仕事をさせていただいています。

病棟の看護チームより紹介が入った後、担当医師の確認、その他いくつかのアセスメントを経て、患者さんに入るといふ流れを看護師の皆さんと連携しながら行っています。患者さんのその日の症状の変化や、突発的な注意事項など、日々セラピーを行うのに必要な情報を、医療チームからの生きた情報という形で確認出来ることはとても重要です。各セラピーそのものは、だいたい30分程度で、精油を用いたアロマセラピーマッサージを手足・背中・腹部など、その日の体調やご希望に合わせて行います。また、英国最大のがんセンターの補完療法チームにより実施されてきたハーツプロセスというタッチケアを、衣類や寝具の上からも受けていただいています。

終末期の患者さんにとって、時にオイルを塗布する穏やかなマッサージですら負担になるとき、このハーツプロセスによる、ゆっくりとした穏やかなタッチケアはとても有用です。また、アロマセラピーとハーツを融合してセラピーを行う場合もあります。

これらはすべて患者さん個々の状態に合わせた、患者さん主体のセラピーです。

そしてその触れるケア、植物の力を借りたアロマセラピーを介して、ひとりひとりの尊厳が尊重されながら、最後の時を穏やかに迎えられるよう、心と身体の両方に寄り添い続ける日々です。



▲セラピールームの様子



▲患者さんへの下肢アロマセラピーマッサージの様子



▲HEARTSによるヘッドマッサージ



▲精油の用意の写真（イメージ）

# 推薦委員会からのお知らせ

## 公益社団法人北海道看護協会道南南支部 2026年度選挙名簿

### 改選役員・推薦委員候補者

第一副支部長	高 中 優 子	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	看護師
会 計	生 井 恵 子	社会医療法人文珠会介護老人保健施設 グランドサン亀田	看護師
書 記	永 井 倫 子	医療法人徳洲会 共愛会病院	看護師
推 薦 委 員	熊 田 ひとみ	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	看護師
推 薦 委 員	山 中 美 幸	公益社団法人函館市医師会 函館市医師会病院	看護師
推 薦 委 員	箕 輪 菜穂子	社会医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院	看護師
推 薦 委 員	西 川 和 人	社会医療法人文珠会 亀田北病院	看護師
推 薦 委 員	安 井 真 弓	社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院	看護師
推 薦 委 員	佐々木 智 子	医療法人社団立青会 なるかわ病院	看護師

## 会員募集

北海道看護協会道南南支部では、看護専門職能としての資質向上・専門職団体として、地域住民への貢献・看護職一人一人の健康で働ける労働環境の改善など、職能団体として会員相互の連携を深めながら組織活動を行っております。一人でも多くの方々と連携を広げていきたいと思っておりますので、ぜひ未入会の方へお声掛けをお願いします。入会につきましては、道南南支部へお問い合わせ下さい。会への加入をお待ちしております。

## 個人会員の皆様へお願い

道南南支部からのご案内を送付しておりますが、宛先不明での返却が相次いでおります。お手数をお掛けしますが転居・転職の際には北海道看護協会へご一報いただけますと幸いです。

## 編集後記

厳寒の候、昨年末にかけて様々な感染症の流行もあり、会員の皆様におかれましては、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。今年度の看護の日イベントは、これから看護職を目指す人や地域の方々に向け、初めての形態で行いました。次年度もまたその流れで現在準備中です。

広報出版委員会は、今後も会員の皆様に向けて、研修の案内や役立つ情報を発信できるよう心掛けてまいります。ご意見、ご要望等ございましたら、広報出版委員会までお気軽にお寄せください。寒さも一層厳しくなります。皆様何卒ご自愛ください。

## 道南南支部 会員数

(2025年12月7日時点)



保 健 師	41名	看 護 師	2,582名
助 産 師	61名	准看護師	166名

**Amity**  
アミティナーシング Vol.120  
**NurSing**

### ●広報出版委員会

五 島 真理子 木 村 佳 史 砂 子 睦  
有 坂 祐 子 路 奥 未 来 古 村 千 保

### 公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部

支部長 寺 田 恵 子

連絡先 市立函館病院

〒041-8680 北海道函館市港町1丁目10番1号 電話0138-43-2000